

コミック版
最終話

クールな生徒会長の
正体は——実はマゾ!?

二次元ドリーム文庫の大人気作品がコミック化!

ク
—
マ
ゾ
!

COOL MASHOCHIST

しつて
生徒会長

鈴木和

原作:栗栖ティフ
キャラクター原案:大空樹

試し読み版

成年
コミック

二次元ドリームコミックス

皆おはよう

そろそろ肌寒く
なってきた

風邪を引かないように
伝達事項は手短かに
伝えたいと思う

秋が終わりを告げ
もう冬になるか
という頃

相変わらず僕は
生徒会の三美姫を
一般の立ち位置
から眺めていた

皆さん期末テストが
近くなっています！

受験生は追い込みの
時期です！
しっかり勉強
しましょうね！

生徒会の一員
なのだから
そろそろ皆の前に
出てみてはどうか

そんな舞梨亞さんの
ありがたい言葉も
不相応に思えて
踏ん切りがつかず
同時に背中への
嫉妬の視線を
正面から受け止める
度胸は僕にはない

そしてそして！

応援ヨロシク！
っていうか
来なさい！！



ボクの所属する
陸上部も本選
出場決定です！

舞梨亞さん
凛菜先輩
杏樹…皆本当に
華々しくて



この立ち位置から
見ていると

自分が彼女達の
近くにいるなんて
今でも信じられない

ってかさあ…三人とも
最近益々綺麗に
なったよな

あお前も
そう思う？

なんていうか
より大人っぽく
なったよな



そんな言葉が
聞こえてくることも
増えた

もしかして自分が
関係してるのかな…
なんて少し自惚れて
みたりもする



絶対人には
言えない三人と
僕の秘密の関係

でもこんなこと
いつまでも続く
はずがないし



続けていい
訳がない…

ホラ先輩！
あーんして
あーん！！



ししないよ
恥ずかしい！！



優斗さん今は私達
だけですから何も
恥ずかしがること
なんてありませんよ？

はいあーん♡

西行寺先輩も
悪ノリやめて
下さい！

自分で食べられ
ますってば！！

ちえー…先輩
ノリ悪いなーもう



そんな事言ったら
凛菜先輩だって
最近ただならぬ
雰囲気を感じますけどー

あれーそう
見えます？



うふふ…杏樹ちゃんも
すっかり優斗さんと
仲良くなったわね

まるで恋人同士
みたいよ



…私達だけといえは
舞梨亞ちゃんは
どこに行ったのかしら

お昼はいつも
ここにきて食べるん
ですけどね

…!!



消えたい
今すぐこの場から
消えたい

あらやだそんな
嬉しいこと言って
杏樹ちゃんたら！



い言えない…
まさか
舞梨亞さん…



今机の下で僕の
オチ●チン啜ってる
なんて…!!



ホントに
バレちゃう…!

ま…舞梨亞さん
やめて…!



んぐっ…気にせず
食事を続けてくれ…

今日の私の昼食は
ご主人様のザーメンを
頂くって決めて
いたんだ…

き気にするな
って無理です!

…先輩顔が
赤いけど
熱でもあるの？

!?



……舞梨亞さん
何考えてるん
ですか！

あれホント
やばかった
ですよ！

大体あんなのが
お昼だなんて…
汚いじゃないですか！

…それより岸くん
最近体調が
悪いのかい？

ご主人様のお情けが
汚いだなんて…
これ以上の
ご馳走はないと
思ってるよ

え？

いや…最初の頃の
ザーメンはもっと
濃かったけれど
最近薄く感じる
ような…

すまない
男の子の身体からは
よくわからないから

もしも負担を
掛けてしまっ
てるようなら
言っ
て欲しい

えっ！

あ…いや…

大丈夫です！

そんな事全然！



西行寺先輩…
育ってるよな

今でも凄いのに
まだ育つか…
未恐ろしいおっぱいだ

ああ…あんなので
挟んで貰えたら俺
死んでもいいわ

ふふ…今の方々が
私のこんな姿を見たら
どう思うのでしょうか？

薄くなる原因は
もっと別にあるのだ

そう…負担で
()物(は)特(に)な()

生徒会に入ってから
知った事は

あ…あ…
凛菜先輩
そんな…!

舞梨亞さんを始め
凛菜先輩・杏樹の二人も
被虐性癖を秘めた
変態だった

露出狂の
凛菜先輩

ヒグウツ!

ふぎやっ!

あ…杏樹…これは
やっぱりきついん
じゃない?



い...いいのお...
きついのがいい

キツくて痛い
お仕置きじゃないと
ダメなのお...

わ分かったよ...!

はーっ

心身共に苛められる
事を悦びとする
真性DMの杏樹

これは完全に
暴力だ...

はひっ!!

ルバト



にもかかわらず
段々の行為に
興奮を覚え始めて
いる僕は

控え目に言っ
て
かなりヤバい
のではない
だろうか



このままじゃ...
ダメだよ

...もし万が一
あっても責任を取る
覚悟はある

学生の身分...という
事を除けば将来を
捧げたって構わない

何より彼女達も
僕の事を気に
入ってくれてる

ただ身体だけの
関係じゃないって...
想ってくれて
いるのが分かる

ミッ
ミッ

…たけど僕が
本当に好き
なのは…

生徒会室



…もし僕の
クラスが
違つて



朝礼台の
正面に並んで
いなかったら

もし僕の身長が
もう少し
高かったら

もしあの時
風が吹いて
いなかったら

もし僕があの時
突き飛ばされ
なかったら

もし僕があの時
生徒会室の扉を
ノックしていたら

舞梨亞さんが…他の誰かを
ご主人様に選ぶ未来も
あったのだろうか

舞梨亞さんに
求められる度に
浮かんでくるのは

他の誰かが
舞梨亞さんを
支配するもしもの
世界の光景ばかりで

そんな事を考えると
胸が痛くてたまらない

ただ偶然の上に
成り立った
関係なんて
もう嫌だ

伝えるんだ…
自分の想いを！

失礼します

どうぞ

この続きは製品版をご購入の上、
お楽しみください。

編集・発行

株式会社キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 ヨドコウビル

TEL03-3555-3431 (販売) / FAX03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©KILL TIME COMMUNICATION Printed in Japan

<http://ktcom.jp/>